

玉村町の大字名

上之手にある県立女子大学に勤め始めて32年になりました。最初に住んでいた教員住宅は上新田にあります。町役場は下新田ですね。八幡宮を境に、都に近い方がカミ、遠い方がシモなのでしょう。新町から大学に行く途中の角測の郵便局はよく利用しています。前橋や伊勢崎に行くバスは福島を通りますし、高崎に行くバスは与六分や斎田を通ります。

いま上に列挙した大字名は全て江戸時代の村名です。

明治維新後、旧国が県に変わりましたが、その下の行政区分は、従来どおりの郡と町村でした。しかし、文明開化の時代にあっては、江戸時代以来の町村はあまりに狭く、行政上不都合がありました。そこで明治政府は明治22年に全国規模の町村合併を行いました。玉村町のあたりも、南玉、福島、上飯島、上之手、角測、下新田、上新田、与六分、斎田という九ヶ村が合併して新しい町になりました。その町

群馬県立女子大学 名誉教授 北川 和秀

名をどうするか。平成の大合併では、新市の名で揉めて合併自体がご破算になってしまったケースもありましたが、この九ヶ村のあたりは江戸時代には日光例幣使道の玉村宿のあった場所ですので、比較的にすんなり玉村町たまむらのみくりやという町名に決まったのではないのでしょうか。古代の玉村御厨も意識したかもしれません。その後、昭和30年代に玉村町は拡大しますが、その際も、新たに加わった地域の大字名はやはり同様に江戸時代以来の村名を引き継いだものでした。

地名は形のない文化財と言われます。それぞれの地名にはそれぞれ由来があり、背負ってきた歴史があります。先人達が、江戸時代の村名を大字名として残してくれたのは大変ありがたいことで、そのお蔭で、どの範囲が江戸時代には何という村であったのかを容易に知ることができます。合併によって行政上の効率化を実現させるとともに、歴史のある地名も残す。この共存は大切なことと思います。

住民自治のまちづくり

経営企画課
☎64-7711

たまむら 出前講座

をご利用ください

行政情報や、暮らしのお役立ち情報などを、職員が各地区の公民館や集会所などへ出向いて講座を開催する「たまむら出前講座」を実施しています。

これまででも各行政区、各学校、各種団体の皆さんにご利用いただいています。講師派遣は無料ですので、ぜひ積極的にご活用ください。



出前講座メニューは、経営企画課窓口または町ホームページ <http://www.town.tamamura.lg.jp/> にあります。
※メニューにないものはご相談ください。

【開催するには】～依頼者へお願い～

- 会場（公民館など、集まりやすい場所）の提供
- 町内に在住、在勤などしている皆さんの集まり
- 10人以上の参加者見込み
- 政治、宗教、営利、暴力団活動が目的でない
- 苦情や要望、陳情を聞く場でない

【申し込み】～14日前までに FAXかメールで～

玉村町役場 経営企画課 生涯活躍推進係 あて
☎65-2592
メール keiei@town.tamamura.lg.jp

人気のテーマ（平成28年）

お口元気！ 身体元気！

消費者被害の防止について